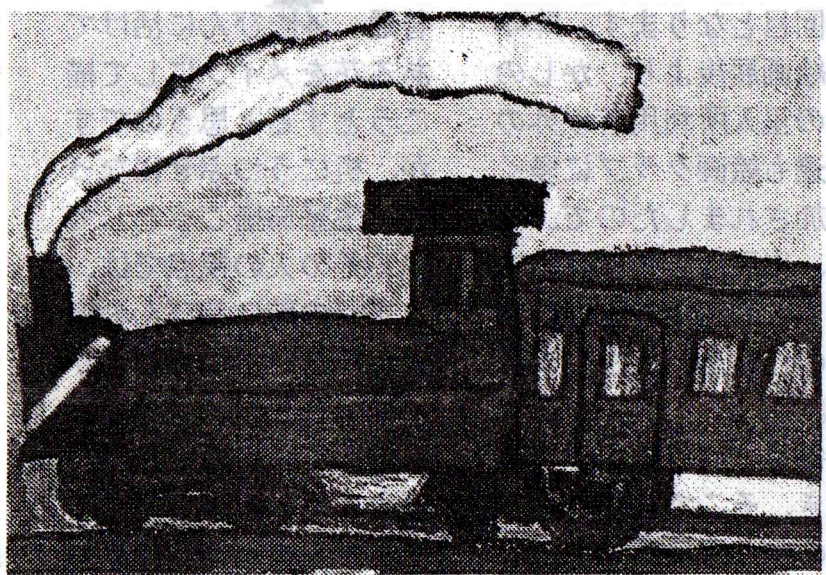


ひとりひとりひかる

2002 07/1  
第29号

きぼう

発行:かしの木の会 /かしの木の里内 尾西市富田字砂原2147:kasisato@f7.dion.ne.jp  
 榎の木園:kasien@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所:kasisyo@k2.dion.ne.jp  
かしの木 ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kst> 開設しました!



▲第2回 そうそうのとびら展の作品

写真は第2回 そうそうのとびら展の出品作品。この他、水彩画・クレヨン画など個性的なものばかり30数点紹介された。6月12日から5日間、尾西市三岸節子記念美術館で催された。同市の知的しょうがい者入所施設かしの木の里では、毎月第二週の土曜日に絵画クラブがもたれ、地域の絵の好きな人の訪問が多くあるという。興味のある方は、かしの木の里までお問い合わせください。

【29号きぼうの目次】

表紙 写真 目次	P. 1
そうそうのとびら展	P. 2
地域・福祉コーナー①/グループホーム	P. 3
地域・福祉コーナー②/要約筆記サークル	P. 4-5
地域福祉情報コーナー/社会福祉法①等	P. 6-7
かしの木の会コーナー①/尾西クリーン作戦	P. 8
かしの木の会コーナー②/スポーツ大会参加	P. 9
施設コーナー①/所/労働と生活について	P. 10
施設コーナー②/残念!かしの木運動会	P. 11
文芸コーナー①/俳句(尾西市民俳句会)	P. 12
文芸コーナー②/はなのき寮 絵画展等	P. 13
地域ボランティアコーナー/富田野菊会	P. 14
榎の木福祉会かしの木の会 決算報告書	P. 15-16
お知らせコーナー①②	P. 17-18

## 第2回 そうそうのとびら展

☆どんなとびらをひらいたかな～☆

かしの木の里の利用者の皆さんが描いた絵画を展示する「そうそうのとびら展」が今年も行われました。

昨年、初めて三岸節子記念美術館において絵画展を行いました。今回は2回目となります。昨年の絵画展後より、かしの木の里入所利用者以外の方達も絵画クラブに多く参加されましたので、今回、出展された作品の中にも入所利用者以外の方達の作品も出展されました。

毎月1回絵画クラブを開き、そこで描かれたものの中から良いと思われものを専門の方の意見を参考に選んで出展した

のですが、どの作品も見ただけでその人が描いたと判る特徴を持っています。絵の題材も人それぞれで、それを見る視点もユニークです。

例えば目の前に花を活けた花びんがあるとして、普通、花びんに活けてある花をメインにして描こうと思うのですが、机にうつぶせになって一生懸命描こうとしているその人の視点では、まず目の前に花びんの模様が映り、その花びんがメインとなり、下から上へ描いていくので花びんが大きく、模様も印象的で花が脇役という作品もあります。

絵画クラブでは絵の

題材を色々用意しているのですが、用意された題材だけではなく描く人の心像風景としか言いようのない作品も多くあります。色や形もその人の内側から出てきたものであり、面白いと思います。深くて濃い色彩、淡くて優しい印象の作品、絵画展に足を運んで下さった方達に1つでも印象に残る作品があったなら描かれた方達の励みにもなりうれしいです。そうそうのとびら展をきっかけの1つとしてかしの木の皆さんを取り巻く人の輪が大きく広がっていく事を願っています。

(絵画クラブ担当 古川)



かしの木の里 絵画クラブの光景

## 地域福祉コーナー① グループホームについて その1 ～『あゆみの家』から教えられること～

私が、「あゆみの家」と出会ったのはつい半年前。施設見学の会合があり、それに参加した時のことでした。「あゆみの家」の施設長田口道治氏から法人内の各施設を案内され、これから檜の木がやっていきたいことが全てここにあると実感しました。重症心身障害者通園事業、地域療育支援事業、ホームヘルプサービス、分場工業等が出揃っているのです。中でもグループホームが充実し、地域の中で9ヶ所も用意されていることに驚きを感じました。そして、檜の木のグループホームの設置の遅れも同時に痛感しました。「あゆみの家」では、「施設から地域へ」を命題にしているとのことでした。

檜の木では入所施設があります。県や市の後援をいただき、かしの木の会の会員をはじめとする多くの人の尽力で入所施設を持つことができました。それは、長年待ち望んだ施設でした。しかし、施設はいくら充実した内容であっても所詮は施設です。「かしの木の里はあくまでも通過施設」をうたって開所してはや3年、そこから次にくるもの、もっと地域に密着した、しかも現実の家庭に近い雰囲気の中での生活、グループホーム(生活ホーム)が望まれるのです。

では、グループホームを利用する人はどんな人か？答えは、檜の木の施設にみえる人全てが対象といっても過言ではないでしょう。数年前までは、昼間の時間は一般企業に就職していて、労働面で自立している人が対象でした。しかし、昨今は福祉的労働つまり、檜の木園・作業所のような通所施設を利用してみえる人も対象となってきました。また、重度判定をうけた方の利用もしやすくなってきました。ホームの世話人さんに施設の職員が応援したり、NPOや有償のボランティアの力を得ることができるようになったからです。

私自身、グループホームについて知りたくて、色々な施設を見学させていただきました。先に挙げた「あゆみの家」、大府市にある「愛

光園」「あけび苑」等。それぞれの施設がバックアップして、地域の色々な場所を使って運営してみえました。アパート、市営住宅を賃貸して、施設が建設したり、保護者が建設してそれを借りきったりと形態は色々ありましたが、そこには必ずその取り組みを応援するすばらしい世話人がみえました。そして、それを理解する地域の人たちとこのグループホームには、施設整備といったハード面も確かに必要だが、その取り組みを行なう人垣、ソフト面もそれ以上に大切なことを知らされました。

かしの木の会総会の午後、講演会が行われました。「第二あゆみの家」という入所施設の施設長堀江法夫氏の話の話を聞きました。施設利用してみえる人が、「いつあの街の中で暮らせるの？」という言葉が、グループホーム建設を促したと。そして、「かしの木の会の保護者さんたちはまだ若い。なんでもできるではありませんか」と言われました。そうです、人垣はもうあるのです。その人垣が、施設利用してみえる人達の将来を見据えたところで、色々な場所を用意していかななくてははいけません。その一つがグループホームです。この地域に、施設とは違った、より地域に密着したグループホームをつくるのが早急な課題です。(かしの木の会運営委員 T)

かしの木の会では、グループホームになりえそうな物件を探しています。現在使われていない一戸建住宅、個人のアパート、その他を尾西市内で探しています。

ご存じの方はかしの木の会事務局まで一報をおねがいします。0586-63-2111

## 地域福祉コーナー②

### 参加してみませんか？ボランティアに。



#### ㊦びさいサークル 滝 幸子

みなさんは㊦のマークをご存知でしょうか。このマークは、要約筆記の略号です。難聴者。中途失聴者の耳の不自由な方々に、話の内容を筆記して伝え、社会生活がスムーズに出来るよう、コミュニケーション支援をする仕事です。「㊦びさいサークル」は、平成12年、市の社協主催の要約筆記奉仕員養成講座の受講生が、サークルを立ち上げました。

その後13年度の受講生も入会し、現在会員は少ないですが、市の福祉フェスティバル、敬老会、小中学校生の福祉実践教室等の行事に参加しています。又毎

月第1, 第3火曜日の午後、市文化会館内で例会を開催し、主にOHP(オーバーヘッド・プロジェクター)を使って実技の研修を重ねています。

目標は、もっと要訳筆記者を増やし、家庭にとじこもっている耳の不自由な方々に、社会生活とのつながりを持っていただきたいことです。趣旨に賛同される方、興味のある方は、気楽に例会の見学において下さい。会員一同お待ちしております。

連絡先(0586)68-2968



OHP を使った実技研修の様子

## 中途失聴者・難聴者を知って下さい。



耳の不自由な人には、手話を使うろう者の他に中途失聴者・難聴者といわれる人たちがいます。そういう人たちは手話がほとんどわかりません。話すことができるので、聞こえなくて困っていることが理解されにくいです。年をとって聞きづらくなったお年寄りは、難聴者といわれますが、私のように子供の時の病気で耳が聞こえにくくなった人もいます。

私の場合、補聴器を使って会話ができるので普通学校へ行きました。だから手話ができませぬ。補聴器で聞こえていると思われがちですが、低い音は聞こえるのに高い音は聞こえない。音は聞こえているけど言葉として理解できない。Aさんの声は聞きとれるのに、Bさんの声は聞きとれない、というように私の難聴という障害はとても複雑です。聞きとれない時、何度も聞き返すので嫌がられるのでつい聞こえるふりをしてしまうこともあり人とのコミュニケーションでストレスを感じるようになり、家にとじこ

もりがちになってしまいました。

そんな時、パソコン通信がきっかけで私と同じ障害をもっている人の集まりがあることを知りました。そこでは要約筆記という手話を知らない中途失聴者・難聴者のために、聞こえる人が話の内容を書いて伝えるというコミュニケーション支援がなされていました。大きいの人に伝える時はOHPを使って、少人数の時はノートテイクがなされていました。そこには補聴器の聞こえを良くする磁気誘導ループもありました。中途失聴者が人工内耳の手術をして聞こえを取り戻された人もいました。自分と同じ障害をもっている人々と出会い、要約筆記を知り難聴、中途失聴という障害があっても要約筆記があれば心配ありません。尾西市にも要約筆記サークルができました。おかげ様で外出する機会が増え、前向きに生きていけるという自信ができました。

(難聴者 各務 珠与)

## あなたも要約筆記で、中途失聴者



## ・難聴者を支援してみませんか？

## 社会福祉情報コーナー 社会福祉法を考える(1)

### 今、社会福祉の大きな変化って何

2000年6月に社会福祉法が改正され、来年4月より施行される。新しい社会福祉法の趣旨は支援費制度の導入にある。これまでの行政による措置制度から利用者本人と事業者との契約制へ移行していく。改正法の趣旨では「利用者と事業者が対等な関係に立ち、福祉サービスを自ら選択できる仕組みを基本とする利用者本意の社会福祉制度の確立を図る」という。

確かに戦後半世紀で社会は大きく変化してきている。これまで社会福祉は障害者本人に対して、救済、保護、隔離、訓練、更生、社会復帰させようととらえてきた。それが、新しい社会福祉法の理念では、本人の自己選択・自己決定、個人の自立、社会への完全参加と平等がうたわれている。「障害があるなしにかかわらず、すべての人が支えあって幸せに生きる社会」を目指していくとある。この変化は目を見張るものがある。

考え方が大きく変わってきている。これまでは、障害を持つ人にも少しでも自立するようにとう考え方だ。その自立とは、経済的自立、身辺的自立、あるいは保護を受けないこと、援助を必要としないことと解釈されてきた。それが、すべての人が自らの持つ素質や能力を生かすこと、必要な支援を得ながらも自らの生をまっとうしていくことに価値をみる、自己実現を目指すことが社会の目標と言われるようになってき

た。このことは、ようやく地域社会に理解されて来ているというべきでしょうか、それともまだこれから地域住民に理解を進めていくことと言ふべきことでしょうか。

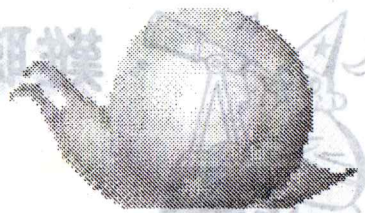
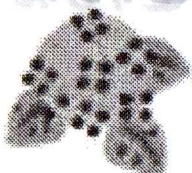
この新しい福祉像の実現、これからの社会福祉の環境整備をしていくのは、これまでと違って行政は支援する立場になって、行政を含め個人や家庭やボランティアなど社会全体で支えましょう、と言っている。

改正された社会福祉法は、制度の仕組みや理念や考え方や取り組み方も変わるとして、いることは積極的に捉えたいところが多くある。

が、ハンデイのあるご本人はじめ関係者の福祉への期待が切実で大きいにもかかわらず、予算は「現状維持」というより実質減少傾向にある。改正法の重点項目である地域福祉の充実をと高らかに謳っているものの、その具体的な取り組みや予算化が見えず、むしろ規制緩和や民間業者の参入ばかりが目立ち、どうやら行政(国)責任の後退の感がするのは、私だけではありません。まさに、経済不況のこの時期に見直され、生まれた制度と言えらと思います。どうでしょうか。

次号より、制度の変化の内容を見て、課題を整理し、福祉の充実へ歩めるものを見ていきたい。

(編集委員 I)



## 地域の声コーナー

### ピュアハウスの活動開始

無認可作業所「ピュアハウス」が、尾西市にオープンしました。地域の養護学校を平成 14 年 3 月に卒業した 4 名の知的しょうがいをもつ青年たちの進路が心配されていました。ご存知のように尾西市内の檜の木の 3 施設(檜の木作業所・檜の木園・かしの木の里)は、すでに入所定員を満たしており、新たな施設が切望されていた所でした。

尾西市当局の格別の配慮により、尾西市明地の旧歴史民族資料館分館 1 階を活動場所にと提供がありました。このことから、親子での新たな活動のスタートをきることができました。そこへ少しづつボランティアも加わり、5 月 13 日には利用者 4 名と保護者や関係者多数が加わり、開所式が催されました。ピュアハウスの状況や目標について、ピュアハウス利用者のお母さんの声を聞いてきました。

「親子で利用を始めてから 1 ヶ月が過ぎました。最初は子供達もおっかなびっくりで慣れるのに少し時間がかかりましたが、今では家に居るよりは楽しい様子です。しかし、親(特に母親)がここでは指導員ですので、どうしてもお互いに戸惑ってしまいます。子供には自力通所させたいのですが、交通手段も十分ではなく、ついつい親が甘やかしてしまいます。親の都合等で子供たちを長時間ぼんやりと待たせたり、目の届かないところでは無断で外に走り出してしまい、道路へ飛び出して冷やりとさせられる事もありました。これから夏に向かって

暑さも厳しくなっていますが、各部屋にエアコンを整備しなければなりません。無認可の作業所を運営することは本当に大変だ、という実感とこれから先どのようにやっていけばいいのだろうか、という不安でいっぱいです。

今は、私達と私達を支えてくださるボランティアさんと一緒に頑張っていくしかない、と思っていますが、目標は正式な指導員を確保し、子供の処遇を適切で安定したものにしてゆくことです。それから、近い将来このピュアハウスがきちんとした認可施設(分場もしくは小規模作業所)になり、どの子も平等に必要な支援が受けられるようになることを心から願っています。

最後に、どうぞこのピュアハウスにお気軽に立ち寄りください。子供たちとのふれあいを通して、すばらしい出会いが生まれますよう心から念じています。」

(取材：K)

### 尾西市作業所 ピュアハウス



尾西市長さんの激励のあいさつ

# かしの木の会コーナー①

## クリーン作戦に参加して



夏を思わせるような陽差しの中で恒例となりました「河川クリーン大作戦」が行われました。富田山付近での参加者は、400名を越えていたようです。

私は今回初めての参加だったのですが、小学生の子供から、ちょっとお年を召した方まで、地域に暮らす人たち、又かしの木の会会員のみな様など、いろんな立場の人々が同じ目的である「自分たちの住むまちをきれいにしよう」という気持ちで暑い中、汗をふきながらゴミを拾って歩きました。

時期的に草が生い茂っていてゴミが目立ちにくかった事もありますが、思っていたより少ないように感じました。

一回りして集合場所へ帰ってきた時、知らない人も多かったのですが、不思議な連体感と、達成感があり、心地良い汗をかかせていただいたなと思いました。

常々、私達は他の人達に、又地域に対し、お願いすることばかりですので、このような地域活動が行われる時は積極的に参加していきたいものです。そしてほんの少しでも自分が地域のために役に立てるんだな、と思えることは何となくうれしいことじゃないですか皆さん。

また11月に予定されているようです。一人でも多くの方々に参加していただきたいです。(かしの木会員S)

### いっしょに汗を流しましょう！





# かしの木の会コーナー② 姉妹大会に参加して

去る5月12日、第22回尾西市心身障害者スポーツ大会に参加させて頂きました。

当日は、五月晴れでとても運動に適したすがすがしい一日でした。今年は参加者が少ないとお聞きしていましたが、市長様を始め心身障害者福祉協会長様、起小學校長、市議会議員様や、愛知県議会議員様、社会福祉協議会長様等、たくさんの来賓や、ボランティアの方、起小學校5年生の方と総勢三百数名もの方達が集まっての開催となり、規模の大きさに驚いてしまいました。

この様な方達の中で、わが子もいつもと違う雰囲気を感じたのか、本人なりにいつもより一生懸命ラジオ体操をしていましたし、競技一つ一つも真剣に取り組んでいました。又わが子にとっては、初めてお会いしたお母さんとも、スーパースレースを一緒に落ち着いてやってくれ、ずいぶん成長してくれたなあと嬉しく思いました。

また車椅子競技には、来賓や、5年生の方が参加され、スムーズに車輪を回す子もいれば、力の加減が難しいのか、横

に進んでしまう子もいたり、目の当たりに見ると、改めて車椅子を動かすことって、なかなか大変なんだなあと感じさせられました。子供さん方も車椅子を使っておられる方のご苦労がわかって、普段出来ない良い体験ができたのではないのでしょうか？

またお昼には、早朝よりCOCO 壺番屋さんのご厚意により車での出張サービスをして下さって、出来たてのカレーをととてもおいしく頂くことが出来、子供たちも大変喜んでいました。大変お世話になりました。

普段は、家庭の都合でなかなか外出することも出来ないでいます。スーパー等に外出するのを楽しみにしている子にとって、このように私達が気兼ねなく加できるのは、たくさんの方々のおかげによって成り立っているからだなあと、つくづく感じました。私達の為にお世話を下さった、たくさんの方本当にありがとうございました。これからも、いろいろな方面でお世話になると思いますが、よろしくお祈りします。

(かしの木の会員)



車いすリレーの様子

(関 員 瀬 西 業 科 木 の)



## 施設コーナー②

### また来年！！残念、檜の木 運動会

今年から5月に行われることになった檜の木運動会。あいにく前日から雨が降りまた当日も朝から雨が降ってしまい中止という残念な結果になってしまいました。

ということで、皆さんの運動会での様子などお伝えできたらと思っていたところでしたが、それもできませんので、今回は今年度の運動会までの皆さんの様子をお伝えできればと思います。

さて今回の檜の木運動会、例年10月に行われていましたが、今年から5月に変更し、本当にもうすぐ運動会があるの？ 今度の土曜日は運動会なの？ 普段の施設の中では、このような雰囲気でした。それは檜の木へ通っている皆さんだけでなく各施設の職員、お父さん、お母さん方も同じように感じられていたのではないのでしょうか？ 私もまだまだ檜の木へ来てから数年



しか経っていませんが、知らず知らずに檜の木での一年のリズムみたいなものができていて、5月の運動会というのは不思議な感じで（皆さんも同じように感じているのかなあと思いながら）迎えるようにしていました。

ですが、体力づくりで運動会の練習を行ったり、くす玉のたれ幕をみんなで作ったり、開会式、閉会式、アナウンスの練習をしていくうちに、徐々に盛り上がりを見せました。休憩時間などにも運動会の話題が出てきたり、楽しみにしている方もみえました。

また運動会という皆さん苦手なイメージの方が多いようで、楽しみにしているけれど、不安な様子で過ごされている方もみえました。それぞれ皆さん期待と不安の中

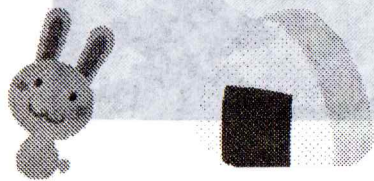
日を迎えられたことと思います。

今年は予備日がなく中止ということになってしまいましたが、来年度は晴れることを願うと同時に予備日がとれる様にしていきたいと思います。

仮に予備日がないとしても各施設の室内で雨の日でも運動会ができたと思います。中止ということで皆さん残念な気持ちで不完全燃焼だとは思っています。個人的には、今年もお昼休みに職員からの出し物が予定されていましたが、それがお披露目できなかったのが、残念です。（内容については秘密ですが、各施設のレクリエーション担当まで気軽におたずね下さい（笑）

最後に、グランド整備、草取り等、準備にお手伝い下さった方々本当にありがとうございました。では皆さん来年の檜の木運動会もよろしく願います。楽しみにして下さい。また来年！！

（檜の木園職員 夏井）



# 文芸コーナー ①

## 尾西市市民俳句会

雨上るらし斑鳩に雉子鳴いて

森青山

法隆寺出て老いも買ふ氷菓子

櫻井幹郎

万緑にずしり重く塔沈む

服部愛子

天寿国曼荼羅繡帳亀の鳴く

伊藤宮子

茶粥屋の女将涼しく髪束ね

栗山子ヨコ



古墳より出し鞍金具お風入

可児 潔

法起寺の塔をかすめて燕舞ふ

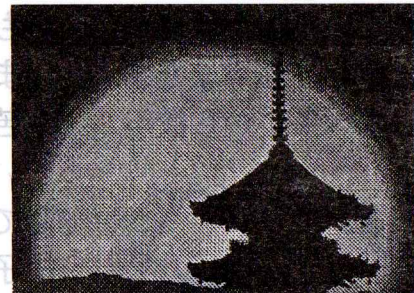
渡辺 長久

夢殿の秘仏まぶしむ夏かな

木之村美仔子

遠足の子で活気づく法隆寺

杉浦 光枝



## 文芸コーナー②

### 酒井彰治絵画展、感動を呼ぶ

去る平成 1 4 年 4 月 9 日より 6 日間、尾西市歴史民族資料館にて、酒井彰治絵画展が開かれ、感動を呼びました。

酒井さんは交通事故で頸椎を痛め下半身不随の障害を負う。「どうやって生きていいのかわからない。」と思い悩む日々が続くが、絵との出会いから希望を見出すことができたという。NPO 共生会ボランティアさんの励ましなどを得ながら、風景、人物、動物などを精力的に描き、その数は百点を超えた。絵心のある人に感想を尋ねると、「色がきれい、濁っていない。人物でも目がきれい、明るい。上手に描こうと思っていない。自分の気持ちを表している。だから心に残る。」と感動をあらわにしていた。

肢体不自由児・者の美術展へ始めて出品したところ、優秀賞を受賞し、今回の個展に至った。「今、本当に幸せ。絵を楽しんでもらうとことで、社会に恩返しをしたい。」笑顔がこぼれた。



絵画展に見入る観客

### フライングディスク大会で 入賞する

愛知県障害者スポーツ大会が、5月 25 日(土)・26 日(日)に、豊田市運動公園陸上競技場で行われました。

かしの木の里においては、昨年 1 1 月よりこのフライングディスクに取り組んでいます。週に一度の体力づくりの時間に、スポーツ指導員の指導を得てまだ半年ばかりですが、県の大会に出場できるということで、初めての参加でした。

このスポーツ大会は、第 4 0 回愛知県身体障害者スポーツ大会と平成 1 4 年度ふれあいスポーツ大会(陸上・フライングディスク)を合わせたもので、主催は愛知県と愛知県社会福祉協議会です。

競技は、アキュラシー 5 の青年男子・女子の部で、グループ分けがされていた。直径 9 2 センチの輪の中へ、1 0 枚のディスクを投げうまく通った数を競います。かしの木の里からは 4 名の青年男女が出場し、競った。うまく通ると、審判の旗がすくと頭上に上がり、外れると足元で振られるので、観客席の応援も、歓声や溜め息につつまれた。里からの出場者は 9 枚や 6 枚などの成績で、なんと金 1 枚、銀 2 枚、銅 1 枚で、全員メダリストとなり、青空の下笑顔がひろがった。



メダリストたちの笑顔

# 地域ボランティアコーナー

## 野菊会のゴキブリ団子

尾西市の富田地域のボランティア団体「野菊会」をご存知ですか？以前から、富田地区の有志の方々と活動されており、平成14年の4月より富田「野菊会」として活動をされています。「野菊会」の皆さんは15名で、かしの木の会の購読会員としてご協力いただいております。

ボランティアについてメンバーの皆さんで話し合われ、無理なくできる時間に集まって、地域に貢献できるボランティアをしようということで、今回は以前に作られて好評だった「ゴキブリ団子」を作られると伺い早速取材へ伺いました。

この「ゴキブリ団子」とはご家庭にあるものでできる、ゴキブリ駆除用の団子です。作り方は小麦粉にたくさんの玉ねぎをミキサーで細かくして合わせ、牛乳とホウ酸を加えて練り込んでいきます。練り込んだ固まりをひとつひとつ丁寧に小さい団子にして、平らに延ばしシートの上にならべ、2週間ほど天日干しに

して、乾燥させると完成です。

ゴキブリ団子を毎日朝になると外に出し、夕方洗濯物と同じように中に取り込む作業をしていると、まるで、わが子のようにかわいい存在になっているそうです。「ちゃんと乾いたかな？あ、まだしけってるわ！」と。

今回は野菊会さんのご厚意で、作られた「ゴキブリ団子」を一袋300円で売って見たら？というご提案があり、「ゴキブリ団子」を袋詰めにしたものに、値段も入れていただいたものをかしの木に100袋ご寄付いただきました。ありがとうございました。

売れ行きは好評で、尾西市社会福祉協議会での出張販売や、各バザー、朝日荘出張販売や、かしの木の会会員さんにご購入いただきました。

「また好評だったら来年も」と野菊会のみなさんがおっしゃってくださいました。ご購入されたかたには是非ご感想をお寄せください。

地域のみなさんにご協力いただけることは大変うれしいです。だんだんと地域のみなさんとの交流の場が増え、福祉の輪が広がってきているんだなあ実感しました。

(取材 O)

ゴキブリ団子づくり  
「野菊会」の皆さん



社会福祉法人 榎の木福祉会

平成13年度 決算報告書

(単位:千円)

決算状況	施設区分	会計区分	貸借対照表				収支計算書			
			借方		貸方		借方		貸方	
の	榎の木福祉会	本部会計	流動資産	10,113	流動負債	0	事務費支出	950	補助金収入	10,417
			固定資産	689,162	固定負債	137,550	元利償還金	12,478	寄附金収入	4,646
					引当金	0	繰入金支出	0	繰入金収入	2,055
					基金	686,468	雑支出	0	雑収入	230
				積立金	-134,856	固定資産		引当金戻入	0	
				繰越金	10,113	取得費	0	設備資金		
						積立金繰入	2,694	借入金収入	0	
						当期繰越金	1,226	積立金戻入	0	
			計	699,275	計	699,275	計	17,348	計	17,348
の	榎の木作業所	施設会計	流動資産	12,550	流動負債	2,379	事務費支出	70,565	事務費収入	63,860
			固定資産	21,273	引当金	0	事業費支出	8,420	事業費収入	8,141
					運用財産		繰入金支出	0	補助金収入	7,532
					基金	21,273	引当金繰入	0	利用者	
				繰越金	10,171	当期繰越金	2,747	負担金収入	68	
								寄附金収入	147	
								繰入金収入	0	
								雑収入	1,984	
								引当金戻入	0	
			計	33,823	計	33,823	計	81,732	計	81,732
の	榎の木園	施設会計	流動資産	5,650	流動負債	1,956	事務費支出	63,943	事務費収入	50,800
			固定資産	15,942	引当金	0	事業費支出	7,678	事業費収入	7,515
					運用財産		繰入金支出	605	補助金収入	12,384
					基金	15,943	引当金繰入	0	利用者	
				繰越金	3,693	当期繰越金	177	負担金収入	0	
								寄附金収入	151	
								繰入金収入	0	
								雑収入	1,553	
								引当金戻入	0	
			計	21,592	計	21,592	計	72,403	計	72,403
の	かしの木の里	施設会計	流動資産	15,434	流動負債	7,175	事務費支出	162,813	事務費収入	139,945
			固定資産	28,165	引当金	0	事業費支出	26,940	事業費収入	32,228
					運用財産		繰入金支出	1,450	補助金収入	19,727
					基金	28,166	引当金繰入	0	利用者	
				繰越金	8,258	当期繰越金	5,119	負担金収入	853	
								寄附金収入	348	
								繰入金収入	0	
								雑収入	3,221	
								引当金戻入	0	
			計	43,599	計	43,599	計	196,322	計	196,322
の	榎の木作業所	授産会計	流動資産	4,332	流動負債	46	事務費支出	1	作業収入	6,133
			固定資産	0	繰越金	4,286	事業費支出	6,244	繰入金収入	0
							当期繰越金	-111	雑収入	1
			計	4,332	計	4,332	計	6,134	計	6,134
の	榎の木園	作業指導会計	流動資産	2,840	流動負債	1	事務費支出	0	作業収入	3,409
			固定資産	0	繰越金	2,839	事業費支出	2,492	繰入金収入	0
							当期繰越金	1,008	雑収入	91
			計	2,840	計	2,840	計	3,500	計	3,500
の	かしの木の里	作業指導会計	流動資産	1,656	流動負債	0	事務費支出	0	作業収入	2,865
			固定資産	0	繰越金	1,656	事業費支出	1,656	繰入金収入	0
							当期繰越金	1,210	雑収入	1
			計	1,656	計	1,656	計	2,866	計	2,866





# お知らせコーナー①

バザー用品提供のお願い

持ち込み先：かしの木の里

連絡先：かしの木の会

事務局 (0586-63-2111)

受付期間：7月 1日から

7月31日まで

# 収益委員会より

かしの木の会では、来る8月10日の檜の木盆踊り大会において、恒例の不用品バザーを実施します。

毎年多くの方々のご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。

ご家庭で眠っている家庭用品や雑貨類等ございましたら、ご提供をお願いします。

収益金は、施設づくりや地域生活支援のために有効に使わせていただきます。

お願いしたい物

お断りさせていただく物

- 家庭用品 (タオル、シーツ、鍋、食器類、その他)
- 衣料品 (新品、又は着古しでないもの)
- 和服 (中古でも可)
- 靴、カバン
- 本、CD
- 食料品 (期限切れでないもの)

- × 家具類
- × 電化製品類
- × 人形、おもちゃ、楽器など
- × 着古した衣料品  
(古着は廃品回収へ提供下さい)

一人一品の提供のご協力よろしくおねがいします。

## こぼればなし

### わが家の珍客

4月に入った頃から毎晩のようにヤモリが台所のガラスに張り付いています。おかしなもので、姿が見えないと具合でも悪いのかなとつい心配してしまいます。5月下旬よりあまり見かけなくなり、ちよつと淋しいです。 きぼう読者 (尾西市富田住人)



園木の對☆

里の木のJ☆

## お知らせコーナー②

### 行事予定

- 7月 尾西市ボランティア連絡会事業  
 一人暮らし老人  
 暑中見舞いハガキ作成募り募集  
 8月上旬 同上表書き募り募集  
**8/10(土) 榎の木盆踊り大会**  
 8/25(日) 第27回子どもまつり  
 9/ 1(日) 尾西ボランティア連絡会  
 9/ 3(火) 尾西市敬老会

### かしの木の会手芸製作会

- 7/2(火) 午後と3(水) 終日  
 物資販売 商品受取日 里  
 7/11(木) 里/23(火) 文  
 8/ 7(水) 値札付け里/27(火) 里  
 9/ 9(月) 里/24(火) 里  
 時間は9:30 ~ 15:00 です。  
 里=かしの木の会プレハブ「希望」  
 南部=尾西市南部公民館  
 文=尾西市文化会館  
**どなたでも参加できます！**  
**お気軽にお越しくださいね。**

## 中長期整備事業の有志による自己資金積立状況

(平成14年 6月 6日 現在)

1. 累計積立額 5,169,840円 (目標額: 3000万円)
2. 協力者数 143名 (目標数: 150名以上)
3. 取組み経過月数 10ヶ月 (平成13年8月開始)

- 毎月忘れずに積立いただく「あなた」には・・・着実なご協力に感謝、感謝。
- まとめて一括積立いただく「あなた」には・・・力強いご協力に感激、感激。
- まだ検討中の「あなた」には・・・早速のご協力をお待ちしています。

### ♪ 楽器募集 ♪

只今、かしの木の里では、毎月行っている音楽クラブ「ドレミ」で使用する楽器を探しています！お家に眠っている楽器 使わなくなった楽器 ありませんか？  
 ・打楽器(木琴・タンバリン・太鼓類)・ピアノ(メロディ) など是非、かしの木の里まで、ご一報ください！

☆広報誌「きぼう」の購読会員を募集しています。詳しくは、かしの木の里内 かしの木の会までご連絡ください。  
 (のりばつばは期限) 品検査

尚、かしの木の会/手芸品 かしの木の里/自主製品を、かしの木の里・施設内にて販売しております。お立寄りの際はどうぞご覧下さい。

☆随時 ボランティアさん募集しております！！詳しくは、かしの木の里 武田まで。

## 地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

### かしの木

- かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県尾西市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111  
 かしの木の里内 Fax 0586-61-1200  
 榎の木福祉会☆榎の木作業所 尾西市富田字漆畑1 6番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514  
 ☆榎の木園 尾西市富田字若宮1 7番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253  
 ☆かしの木の里 尾西市富田字砂原2147番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200